保守点検チェックシート

	項　　目	確　認　内　容
1	キャニスターボトル	亀裂、損傷、変色、劣化や汚れがないか確認する。
2	メインバルブ・サブバルブ	外観に異常がないか、緩みやガタツキがなく、スムーズに動作し、吸引力が正しく作用するか確認する。
3	ボトルパッキン	傷や変形がないか、キャニスターボトルに正しく取り付けられているか確認する。
4	ボトルジョイント	傷や変形がないか、プロテクターに正しく取り付けられているか確認する。
5	プロテクター	傷や割れがないか、汚れていないか、キャニスタに正しく取り付けられているか確認する。 プロテクターは使用開始から1年を目安に交換をお願いします。 交換しない場合はフィルターの機能を損なうことがあります。
6	アダプターホース	アダプタに変形やピンはずれがないか、アウトレットとの脱着がスムーズか確認する。 ホースに汚れや変色、詰まりがないか確認する。
7	外観	各部に割れや損傷はないか、清潔性は良いか確認する。
8	操作性	操作性は良いか、各部に緩みやガタツキはないか確認する。

各部の名称は1ページを参照してください。日常点検は１日１回始業時に、定期点検は６ヶ月に１度を目安に行なってください。
異常が確認できた場合には、最寄の販売店まで修理をご依頼ください。

使用上の注意

安全確保のため、本取扱説明書と添付文書を読み、操作方法や保守点検を十分理解されたうえで、ご使用ください。
（記載事項に従わないと重大な事故に結びつく事があります。）

<使用前>

⚠注意

- ライナーを開梱するときはカッターなどの鋭利なものを使用しないでください。
- 連結の最後あるいは単独使用のライナーは必ず新しいライナーをセットしてください。
- 吸引を行なう前に凝固剤を投入した場合でも吸引は行なえますが、ライナー上部の凝固状態が不十分になることがあります。
- 連結したライナーには、手術中のミスト等の水分が付着し、排液が吸引されていなくても、フィルターが汚れることがあります。従って、連結の最後または単独使用のライナーは必ず新品を使用すること。
- プロテクターが汚れている場合は速やかに交換してください。また、プロテクターに除菌性能はありません。
- プロテクターは使用開始から1年を目安に交換をお願いします。交換しない場合は、フィルターの機能を損なうことがあります。
- ライナーに記載されている目盛は目安です。精密な排液量の測定には、微量ボトルをお使いください。

<使用中>

⚠注意

- 消毒液などの薬液を吸引した場合、フィルターが反応せず、吸引が自動停止しないことがありますので、ご注意ください。ライナーにはベント通路があるため、ベイシェントホース接続口を塞いでも、ライナー上蓋から若干の空気漏れがあります。

<使用後>

⚠注意

- 吸引中の結露などでベントフィルターが濡れてしまうことがあります。そのような場合、ライナーのコネクションチューブから排液が溢れてくることがあります。
- ライナーのコネクションチューブを外す際は、必ずメインバルブ及びサブバルブをOPENにしてから作業を行なってください。
- コネクションチューブを外す時は、チューブの先端を人に向けないでください。排液が飛び出し、暴露する可能性があります。
- 吸引後、ライナーをボトルから引き出す際、ボトルがライナーと一緒に持ち上がる場合があるので、ボトルの落下等にご注意ください。
- 凝固剤投入後、上部で凝固剤が排液と混ざらず、凝固状態が不十分な場合があります。ライナーを傾けたり、ライナーを外部から軽く揉むなど凝固剤を拡散させると凝固状態が進行します。
- ライナーの廃棄作業を行う際はゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を着用してください。排液が飛散する恐れがあります。

構成部品リスト

商品コード	部品名称	備　考
361021	ライナー（3.5L）	40個入, ホース コネクタ同梱
361022	ライナー（2L）	40個入, ホース コネクタ同梱
361201	ボトルパッキン	
359011	ボトルジョイント	
361211	プロテクター	ボトル ジョイント付
361221	3.5Lボトル	
361222	2Lボトル	
361202	ハンガー	
361231	ホースコネクタ	10個入
361232	4連サークル用 連結ジョイント	12本入

当製品（消耗品を除く）の保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。

一般的名称	真空吸引器
販 売 名	ヨックスディスポホープ S802
届出番号	10B2X00014C00013
●一般医療機器　●特定保守管理医療機器	

一般的名称	吸引器用キャニスタ
販 売 名	ヨックスディスポホープ用ライナー
届出番号	10B2X00014A00007
容 量	2L・3.5 L
●一般医療機器　●再使用禁止	

発売元：株式会社小池メディカル　東京都江戸川区松島1-24-8
製造販売元：株式会社群馬コイケ　群馬県伊勢崎市長沼町222-1
2022.9

yex DISPO HOPE ヨックスディスポホープ取扱説明書

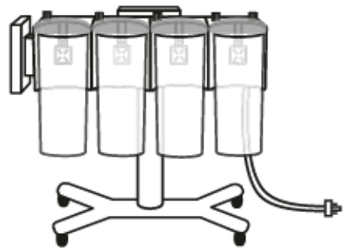
このたびは当製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。当製品の機能を十分にご理解し、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に添付文書と合わせて、必ず本取扱説明書をお読みください。
また、当製品を安全にご使用いただくため、各警告・注意事項はしっかりとお守りください。

⚠ **警告**　死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**　軽傷または中程度の傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

各部の名称と機能

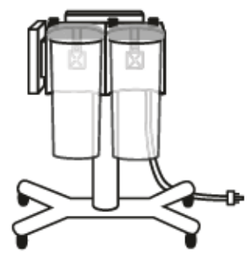
キャニスタ



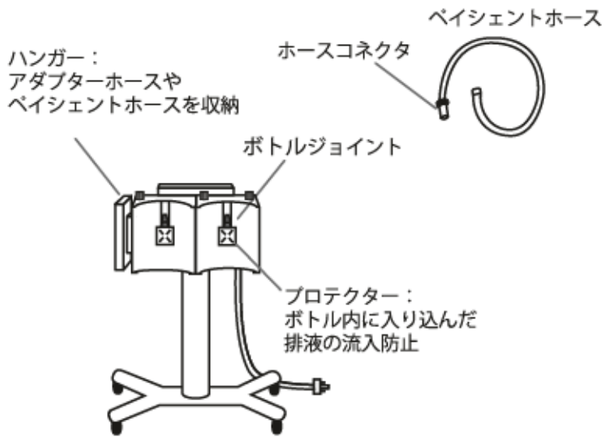
4連パノラマ型(2L・3.5L×4本吸引可能)
サイズ:最大高さ731mm×幅640mm×奥行306mm

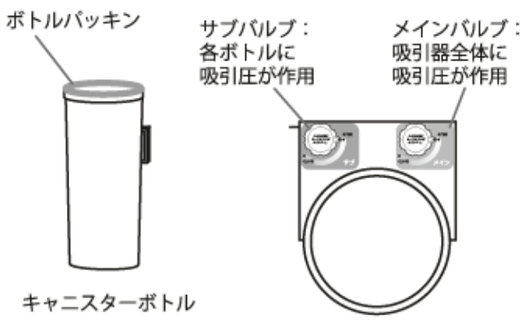


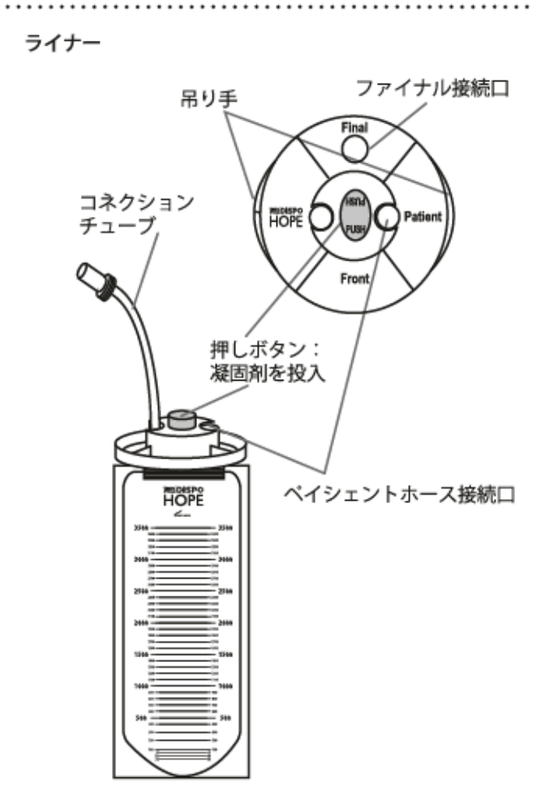
4連サークル型(2L・3.5L×4本吸引可能)
サイズ:最大高さ731mm×幅404mm×奥行410mm



2連(2L・3.5L×2本吸引可能)
サイズ:最大高さ731mm×幅404mm×奥行306mm

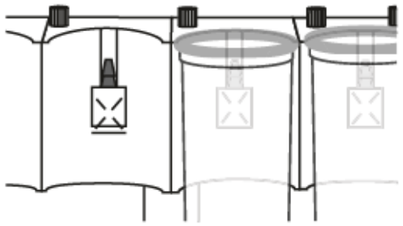






吸引開始の手順

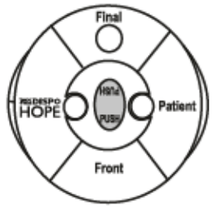
❶ 必要数に応じたキャニスタとスタンドを組み立ててください。 このとき、ボトルパッキン、ジョイントがしっかり装着されていることをご確認ください。また、吸引アウトレットにアダプタがしっかり差し込まれていることを確認してください。



❷ プロテクターに汚れがないことを確認した後、ライナーをボトルに挿入します。このとき、ライナーのテープは剥がさずに、ライナーを伸ばしてそのままボトルへセットしてください。

> ⚠ 注意　ライナーをボトルにセットする際は、ライナーのFront の刻印や目盛が正面になるようセットしてください。





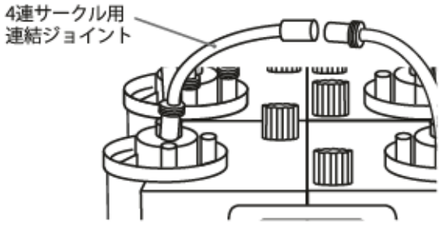
❸ ライナーのコネクションチューブを次のライナーのペイシェントホース接続口に接続し、ライナーを連結してください。連結の最後や単独使用のライナーのコネクションチューブはファイナル接続口に差し込んでください。

> ⚠ 注意　コネクションチューブのコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。



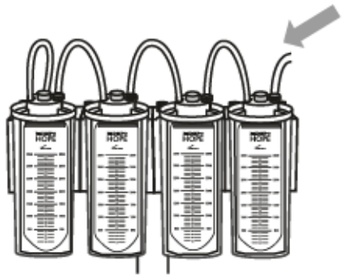


サークル型の２本目と３本目の連結は４連サークル用連結ジョイントを使用します。



❹ ペイシェントホース接続口にペイシェントホースを取り付けます。

❺ メインバルブ及び各ボトルのサブバルブをOPENにしてください。各ボトルに吸引力が作用し、セットしたライナーが膨らみ、吸引が開始されます。

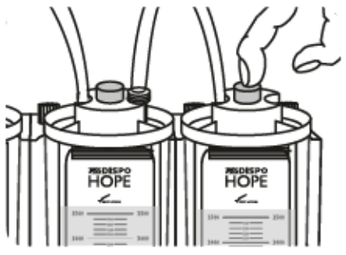


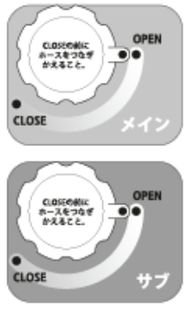


> ⚠ 注意　このとき、ライナーが膨らまない場合は、プロテクターの汚れがないこと、ライナーとパッキンの密閉を再確認してください。

吸引終了・廃棄の手順

❶ ホースコネクタを外し、凝固剤を投入してください。ライナーの押しボタンを押すと凝固剤が投入されます。





❷ メインバルブ及びサブバルブをOPENの状態で、連結していたコネクションチューブを外し、コネクションチューブが繋がれているライナーのペイシェントホース接続口に接続します。

> ⚠ 警告　メインバルブ及びサブバルブをOPENの状態で作業を行なわないと、ライナー内の排液がコネクションチューブの先から流れ出ることがあります。また、排液が漏れた場合、危険ですので、外したコネクションチューブは人のいる方に向けないでください。





❸ サブバルブをCLOSEにし、吊り手を持って、ライナーを引き出しを持って、ライナーを引き出し、適合する法規に従って、ライナーを廃棄してください。





バルブの操作

❶ メインバルブをCLOSEにすると、全体の吸引が停止し、吸引器内の吸引圧が開放されます。
吸引器の使用開始時、使用停止時に操作してください。



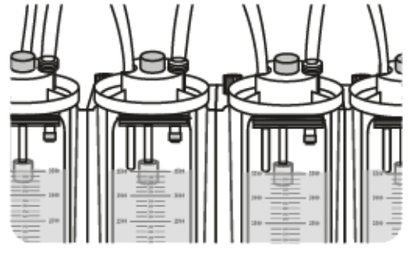
❷ 各ボトルのサブバルブをCLOSEにすると、CLOSEにしたボトルのみ吸引が停止し、ボトル内の吸引圧が開放されます。
凝固剤投入時、コネクションチューブ操作時、ライナーの廃棄・交換時に操作してください。



> ⚠ 注意　連結の途中のボトルのみをCLOSEにすると、ライナーが潰れます。

吸引の自動停止

❶ ライナー内に排液が満杯になると、それぞれのライナーのフィルターが排液に濡れ、各ライナーの吸引が自動停止します。ライナーを連結した場合は、ファイナルのライナーが停止すると、全てのライナーの吸引が停止します。



> ⚠ 注意　吸引が自動停止すると、ライナーがボトルとライナー外側の吸引圧により膨らみます。その際、排液の液面が200mLほど低くなりますが、実際の排液量は満杯に達しています。

❷ 吸引が自動停止した場合でも、ライナーの廃棄作業を行なう時には、メインバルブ及びサブバルブをOPENにした状態で、ライナーの連結を解き、コネクションチューブをペイシェントホース接続口に差し替えてください。

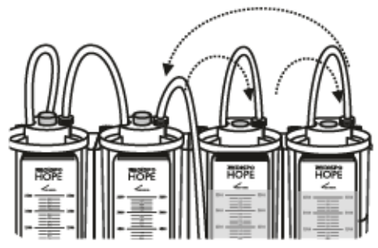




> ⚠ 注意　吸引自動停止後、ボトルとライナー外側の間の吸引力により、ライナーをボトルから外せないことがあるので、ライナーをボトルから外すときには、必ず、サブバルブをCLOSEにしてください。

使用の途中でライナーを交換するとき

❶ サブバルブはOPENのまま、交換するライナーの連結を外し、そのライナーのコネクションチューブをペイシェントホース接続口に接続する。その後、凝固剤を投入する。
このとき、ペイシェントホースが接続されている場合は、ペイシェントホースを吸引を続けるライナーに接続し直す。



❷ 交換するライナーのセットされている各ライナーのサブバルブをCLOSEにし、吊り手を持って、ライナーを引き出す。

